Vol. 32 No. 9123 Wednesday May 12 1937 TAIRIKU NIPPO 昭和十二年五月十二日(水曜日)第九千百廿三號

大陸日報戴冠式奉祝號

謹んで戴冠の御大典を祝す

◇奉祝の辭◇

不磨の大典

心から慶祝

五月の空は晴れて和風習々、地は瑞祥に滿ちて萬歲千秋、莊嚴なる華燭の典りを擴して、本日英國皇帝ジョージ六世陛下御即位の盛儀を挙行わらせらるる我等は今遥かに英京ウエストミンスター寺院に於ける盛儀を想ふ

◇

顧みるに我が國と英國との親交は既に永く既に濃か、彼我の歴史の一頁々々深く飾られてゐる事は申す迄もなく。維新以來あらゆる方面に於て西の島帝國は常に先して東の島帝國に好樣を示し、我等が學ぶ所且負ふ所の少なからざる事は敢へて贅言を求むるまでもない事實である。躍進日本今日の榮國の中に英國の在るは疑ふべくもない。況んや、大英帝國の傘下カナダに住み日々その榮光に浴しつゝある我等同胞二萬の負ふ所蓋し縷述の要なし。

◇

されば日英兩國皇室の御厚誼は年と共に敦厚を加へて來つた。我が國の大典に當つて英國皇室は暖く皇族を御來遊ばされ、明治天皇御大葬には コンノート親王殿下、今上陛下御即位に際しては グロスター公殿下を御差遣あらせられた。今日の御盛儀に向つて我が皇室が再び英國皇室と御親交淺からざる秩父宮殿下を御名代として御來遊遊ばさる所以は一に兩國の特殊親善關係を物語るものであつて麗しき極みである。

◇

さりながら此の如く日英の關係は歴史的に見て深き友情の連鎖ではあるが、世界大戰後日英同盟の矢はれて以來極東に於ける限り日英の關係に多少の疑問ある を否み得ない。惟ふに東洋和平の前途は日英兩國に俟つ所極めて高大なるものがある秋、今日の戴冠式を契機として兩國の帶の金き強化を希望祈念するは徒ホならずと確信す。

◇

見れ多い事ではあるが、秩父宮殿下の御渡英は洵に重き御使命があらせられるやに拜察す。隨つて日英の二つの環境の下に在る我等在留同胞が深く省察し兩國々交の國民外交を擔當すべき絶好の機會に惠まれてゐる事を兎く自覺しその餘りなきを期せんとするは當然の事と言はねばならぬ。されば今日の佳き日に當りカナダ國民と共に同胞一つて滿腔の赤誠を捧げ英國皇室の無窮を祝し、大英帝國の無窮を祝し奉るは猶家族友人知己で家長の吉禮を一家の大事として祝福するの理と同一感情にして、英國に對する我等の敬裏に美はし。これ即ちカナダに對する我等の赤心ともなるであらう。

◇

本日の盛儀に際し我等はジョージ六世陛下の萬歲を祝し且大英帝國の隆運いよ〳〵開けん事を祈る。

茲に慶しんで一片の賀忱を表する次第である。

御大典を奉祝

更に日英親善の敦厚を冀望

特命全權公使 加藤外松

英國皇帝ジョージ六世陛下の戴冠式を加奈陀に於て在留同胞諸君と俱に奉祝出來ますことは私の洵に光榮とする所であります、新帝ジョージ六世陛下はエリザベス皇后陛下と共に全英帝國民の欽慕するところでありまして、英帝國の結合は新帝陛下の治下に於て益〻鞏固を加ふるに至ることゝ信じます、日英兩國の傳統的友好親善關係に鑑みまして此の度の大典に參列のため特に秩父宮殿下を御名代として御來遊遊ばされました、兩皇室を通じ日英兩帝國の和親協調を增大することは世界の安定を促進する上にも洵に願はしいことゝ稱ふるものであります、此に愼みて本日の盛典を祝し且つ日英兩帝國の交はり愈〻敦厚を加ふるに至らんことを冀望する次第であります

奉祝

安仲詩都江

御神の選み給ひし大君なれば
今日のみ榮のくしく芽出度き

○

萬代も英帝の榮ゑ民草の
國々のはてより祈り奉る

○

御榮のいよ〳〵深くはぐくみて
平代萬世にゆるぎあらすな

森本參木

光り滿つ五月の晴れや戴冠日
領土まで漲る五月晴れの空

五月晴れ安らかにゐて此佳き日

三宅春江

王冠や鐘晴れ渡る五月空
山に住し海に尙は好し五月晴

沼瀨女

山櫨の花に良き日の來る日かな

一瀉風

安固に年經ち今日の佳き日を
迎へ

此佳き日を慶祝

併て在留邦人の覺悟を促す

在晩香坡帝國領事 根道廣吉

本日は英國皇帝ジョージ六世陛下並にエリザベス皇后陛下の戴冠式が行はれる誠に御目出度い日であります。

吾々日本人は誠意を以て御祝ひ申上げる次第でありますが、殊に當加奈陀に在留する日本人としては、他の何れの外國人よりも熱誠こめて慶祝の意を表するものであります。

傳統的持殊の友好關係に終始し來つた友邦英帝國の不磨の大典に際し、吾々日本人が心からなる溫かき祝意を表するに、他の如何なる國民に比し劣らぬものであることは 日本人の友愛に忠實なる本性を知る何人も敢て疑はぬところであらうと信じます。

過ぐる三月廿九日吾々は秩父宮同妃兩殿下を當國に御迎へ申上げました。秩父宮殿下は畏れ多くも天皇陛下御名代として本日の此の大典に御參列の爲、妃殿下御同伴御渡英の途次晩香坡に御上陸當國を御通過遊ばされたのでありますが、其際兩殿下は在留邦人の奉迎をいたく御喜び遊ばされ又當國人側の奉迎に對しても深く御滿足に思召された樣に拜察申上げたのであります。

茲に吾々は誠に意義深き事實を發見する次第でありまして、畏れ多い言ひ方ではありますが兩殿下は日本の爲好個の親善使を御勸め遊ばされ、且吾々に對しても大きな御惠みを御殘し下されたと申上げて差支ないと存じます。

吾々はこの大きな有難い御土產を大切にしなければなりませぬと同時に、これを立派に活かして日加の親善關係を一層密接にする樣心掛けねばならぬ義務があると信じます。

本日此の盛儀に當り聊か所感を述べて心から御祝ひ申上げる次第であります。

奉祝

加奈陀鹽鮭

輸出株式會社

奉祝

晩香坡市バウエル街三九八

加合同貯蓄會社

奉祝

晩香坡市西ヂョーヂヤ街一九六九

久岡造船所

■……世界一の大ダイヤを填めてある戴冠式用の英王笏の頭部（最大部がダイヤ）

英皇室の財産調べ

◇……あれや是れ年收四百万弗

金の皿が一千萬弗

（一）

英國皇室の財産は一体どれくらひあるのか、皇室の居所たるバッキンガム宮殿さへ、これなど五百萬弗の金を喰つて出來た館である――其他いろ〳〵な家具、例へば宮殿に秘蔵されてゐる金の皿など、世界的名畫、目ぼしい宝石を、お金に見積れば大変な額にならうし、一寸見積るのに困難な程である

本日の戴冠式に使用される各種の式典用貴物の値打ちがザッと三千萬弗――これは寧ろ、皇室の私用物ではなくて國家の物だと云ふべきものだから、皇室の財産から除外しても、外に御所付物や、御領地から入つてくる金額も相當の額に上る

◇

さあ、英國皇室の一年間の收入と云ふものはいくらかと云ふに國家から毎年割當てられた皇室費がカナダの金にして二百三十萬弗、夫れから御所付地ランカスター侯地から納入される金が年四十五萬弗、皇太子（プリンス・オブ・ウエールス）の勤めて取つてゐる御領地コーンウエル侯地は、現在は太子が居られないから所得年約百萬弗の收入があり、合計年約三百八十萬弗の金が皇室の手に入る、極く最近、王統継承者たるべき第一王女エリザベス姫の誕生祭に云ふものが決定したが、夫れを加ふるも三百九十萬弗に達しない

◇

我々からみれば非常な多額の年收所得に違ひないが、イタリーの國家が皇室に獻じてゐる金額三百九十二萬弗に比べると少なく、或金國アメリカには年收百萬弗以上の所得者が幾人か居るのに比すれば、僅かに一億弗に過ぎない

大英帝國皇室のインカムとこれなどのも、さう驚く程の事はない

（二）

英國皇室はイングランド、スコットランド、ウエールスに莫大な土地や農民を所有して居られる、イングランドに七十萬エーカーの農地と優秀な家畜を飼養してゐる、ダートモアには八萬エーカーの森林があり、ウインザー方面にも林地を持つてゐる

他に錫の鑛山、炭坑、オイスター飼養地、レリー島の花園、ロンドン市中のパイン街の土地、レゼント街の土地などと夥しい土地や山地を所有してゐる、此のレゼント街の土地だけでも年百五十八萬弗の所得が入つたものらしい

皇室の不動産から皇室に轉ひ込む年所得は六百萬弗を下らないらしいの方が、皇室は國家から定められた所得を受けその代りに皇室所有の皇室不動産は國家に裏渡してしまつたのである

右はビクトリア女王時代に不動産からの所得百二十二萬五千弗あつたものを、皇室費百九十二萬五千弗と交換したものださうで、その時分は寧ろ皇室の方が得をしたが、現在はその不動産からの收入六百萬弗と見積られてゐるのだから、結局は國家の方がいま頃に大得をしてゐる事になる

◇

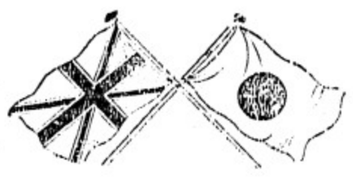
さて、次にバッキンガム宮殿内の財産調べに移るとしやう――宮殿には、ササアン、レンブラント、バンダイク、ローレンス、ゲーンスボロスなどの古今の名畫が、あまた秘蔵され、流石のセルガンも一億弗には足りないが、ピンからキリまでは世界一として、戴冠式毎に話題に上つてゐるわけである、同じ親戚から切り取られた第二のダイヤ（三百九カラット四分ノ三）は皇國王冠の前面に飾られてゐる（完）

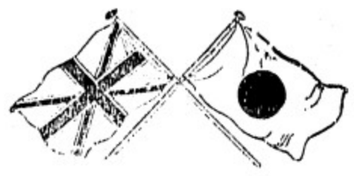
川崎清滿

（三）

世界でも有名なのは、戴冠式に使用される帝王笏の頭部にハメ込んである「アフリカの大星」と稱する世界一の大ダイヤモンドである――その重さ曾に五百十六カラット半、千個の切り屑をくらひ取り金にすれば、なほ位か見當もつかない、このダイヤの親戚はカリナン・ダイヤと云つて倫敦で發見され今から三十年前、トランスバール政府から時の英帝エドワード七世に獻上され、此の親戚をダイヤ師がいくつにか割り、その最大部が、笏にはめ込まれ、現在陛下がかけられたダイヤとしては世界一として、戴冠式毎に話題に上つてゐるわけである、同じ親戚から切り取られた第二のダイヤ（三百九カラット四分ノ三）は皇國王冠の前面に飾られてゐる（完）

川崎清滿





祝　奉

青山恭三	青木定義	淺野要	江畑與惣七	福山千吉	福井彌一	古川繁雄	後藤禮吉	林藤兵衛	林醫院	堀壽次郎	寶崎米吉
疋田佐右衛門	萩野林藏	星野良平	伊吹末次郎	伊藤宗吉	桑田久男	小平宗男	前川魚店 木下善市	ローヤル銀行 木下善一	小柳佐一郎	梶木眞一	狩谷悅次
神原源男	岸本大藏	北川英三郎	松山豐藏	松井正之	宮崎孝一郎	宮崎茂	益田百城	森野喜久三	前田次三郎	湊川留一	信岡良太郎
中村宏	中村寅次郎	中靜枝	中山義一	中澤義雄	新見虎五郎	野見哲一郎	荻野太二郎	大家二郎	大隈千助	小澤正作	新小田榮藏
佐野駒藏	杉山岩吉	白石數一	白石萬壽雄	鈴木國藏	菅賢一	志賀一	田中謙三	田中武二郎	田中治雄	田中治太郎	田坂耕二
田鍋與市	高田清太郎	高田義孝	高橋幸一	竹中德次郎	德永重喜	戸田正太郎	内田賴三郎	安居義一	ロイ山村	矢野清視	山岡清太郎

前英帝を迎賓中上ぐ

◇アルバタ州ランチの事ども◇

在アルバータ　新橋善吉

筆者新橋氏は私が「朝鮮畜産」誌上に寄稿した「ランチ物語」の主人公で、御現在滞ばされた前英帝エドワード殿下が王太子殿下時代にアルバータ州に於て御經營遊ばされた牧場に勤務して、殿下よりお言葉を賜はされた人であるが、本文は本紙「就賓式奉祝號」の為に寄稿されたものである。（山本倫山記す）

一千九百十九年の秋、英吉利國の民衆より敬愛され、英國皇太子殿下が、始めて加奈陀を御訪問になり、アルバータ州に御成りの際、加奈陀西部に有名な牧場を見たい」と御せになつたので、その御希望に副ふべく選げられたのが、キャルガリー市より四十哩の南方ハイ・リバー町から西方二十七哩のロッキー山麓近くにある大牧場で、戰前は一時、五萬頭の肉牛を積出したといはれてゐるバッド・ユー牧場であつた。

△

御一行が此處に御到着になり、殿下は何千ヘクタールの牧場を見渡し、小牛にブランド押しの狩集めや、小牛にブランド押しなどすつかり御滿足になり、また初めて御乘馬遊ばされたカウボーイ敷等、所謂ウェスターン・ライフがすつかり御氣に適つたとみえて、殿下は同牧場の支配人カアライル氏に向つて

「自分もこのやうな牧場を持つたらいゝなあ」

と御せになつたのである。そこでカアライル氏は

「殿下に持つて來て頂戴出はありません」

と仰せになり、また「國はどちらであるか」とお尋ねになるので鹿兒島縣と申上げたら、鹿兒島の風景の好いことや櫻島噴煙の味のよかつたことや、島津忠重公の御噂なども仰せられたのであつた。

△

殿下御一行はツロッタア少將、メットキャフ少佐、殿下の財産管理人ピイコック氏、秘書ゴットフレイ卿などであつたが、殿下は御到着の翌日から農事練習生の如き扮裝で、小舍にて牛の手入れをしたり、馬に乘つて牛の狩集めをなされたり、又牧場委員であつたのでリイロ入れの手傳ひや、荷馬車のヴライドをして青オーツを運搬したり、御手に大きな豆を出かして喜んで居られた。

御滞在九日間の内八日間は御客扱で、牧場内は御一行と我々就働者ばかりであつたが、新聞記者や寫眞師などは一哩も遠方の岡の上でブノ〳〵してゐて見て來たやうな嘘を通信してゐたものである。牧場には種々の野鳥も澤山居るので、殿下は或る日獵に出掛けになつたが、あまり澤山獲れ過ぎた上、また殿下はあまり鳥肉を好みにならぬ爲か、鐵砲打には三度しか出掛けにならなかつた。

魚釣りも私の竿が上く釣れるそうだから代して呉れと仰せられ、或日の午後出掛けになつたが、天氣の具合か或は四五分に釣れねば止してしまふ漁師とみゐ、十二時位のレインボー・ツットを三尾釣つてお止しになり、二度とお出掛けにはならなかつた。

△

殿下が牧場に御滞在中朝茶陀の各地からいろ〳〵の物品を獻上して貰ひたいと云つて送つて來たが、碌らない品なら大抵感謝狀を添へて送り返されたが、ビー・シー州から來た果物や、セロクー、また七面鳥、鹿肉などはケッチンを賑やかしたものである。

或時住宅の御居間に、鹿の角で造られた美しい椅子が屆いた、勿論銀金では買ふ事の出來ぬ恐ろしく手間の掛つたものであつたが、動物愛護家であらせられる殿下は「このやうな物を朝晩見るのは厭である」と仰せられ、これを火葬にする事に決し、夜の十時頃大きな野火をたいて椅子を投入れ、私も御一行に加はつて一回は子供のやうにはしやいだものである。

△

私達に對して毎朝かならず殿下の方が早くその日の挨拶をせられたのであるが、それも私には英語で「お早う」と仰せられ、毎日午後四時には英國流で必ず御茶を召上がりになり、牧場でお働きになつてゐても午後四時には御歸りになり「ジミー湯が沸いてゐるか」と御自身でケッチンに御出でになつたり、ケットルが空になると、御一行中殿下が一番若い故か、必ず御自身で茶ピンをぶらさげてケッチンに御出でになつたものである。

△

御出發の際も私は停車場迄荷物を運び、汽車にそれを積み込んでツラックの中にゐると、支配人のカアライル氏が「ジミー早く來い殿下が御呼びになつて居る」との事で、黒山の樣に集つて居る見送り人の中をカアライル氏に隨いて行くと、殿下はプラットホームで御待ちになつてゐて握手を賜ひ「長く世話になつて有難う」に御せになつた時は、道に私も涙が流れたのであつた。

△

翌年の正月に長男が生れた時、イー・ビー牧場で始めて生れた兒か「今日は」とか仰せられ、毎日午後四時には英國流で必ず御茶を召上がりになり、牧場でお働きになつてゐても午後四時には御歸りになり「ジミー湯が沸いてゐるか」と御自身でケッチンに御出でになつたり、ケットルが空になると、御一行中殿下が一番若い故か、必ず御自身で茶ピンをぶらさげてケッチンに御出でになつたものである

△

御出發の際も私は停車場迄荷物を運び、汽車にそれを積み込んでツラックの中にゐると、支配人のカアライル氏が「ジミー早く來い殿下が御呼びになつて居る」との事で、黒山の樣に集つて居る見送り人の中をカアライル氏に隨いて行くと、殿下はプラットホームで御待ちになつてゐて握手を賜ひ「長く世話になつて有難う」に御せになつた時は、道に私も涙が流れたのであつた。

△

翌年の正月に長男が生れた時、イー・ビー牧場で始めて生れた兒だといふので殿下のお名前を戴いてエドワードとカアライル氏に依つて命名せられたのである。

一千九百二十四年の秋にはまた牧場を御訪問になり、五日間滞在になつたのであるが、この時は御出發の朝私達一家族と記念の寫眞を御撮影になつたのであるが、その日は牛の競馬が催されたので、朝早くから澤山の人が押し掛けて居て、寫眞撮影の際はフェンスの廻りに何百人といふ人が見て居たが、翌日のキャルガリー新聞には昨日世界中で一番幸福を感じた人はイー・ビー牧場のジミーであつたと書いてあつた。

その年のクリスマスには御紋章入りの懐中時計と殿下御自筆のグリーチング・カードを頂き、妻には立派なドレシング・ガウンを賜つたのであつた。

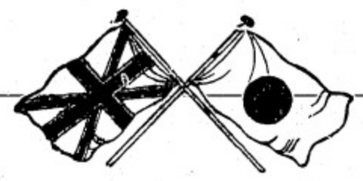
（寫眞は前英帝エドワード八世）

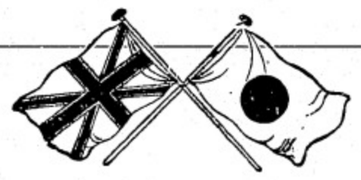
祝賀詩

奉祝

並木しげる

けふはよき日よ
御大典
み空はすつかり
晴れてます
○
隣りのミィちゃん
節ちゃんも
國旗を振つて
飛び出した
○
けふはよき日よ
御大典
みんな祝はう
祝ひませう





奉祝

日本郵船會社
シアトル支店

晩市西ヂョーヂヤ街一八六九
KM造船所
倉本佐次郎
間所實次

新光社

晩市ゴーア街二〇三
信夫事務所
電話ダグラス二八三

晩市（ステングス街五〇二
ウエストコースト
商事會社

晩市ユニオン街二四五
晩香坡紙函製造所
電話ツリニテー五六〇三

クラウン生命保險
矢田源一郎

晩市プリンセス街三三五
花月商會
電話ハイランド一四五

カートライト
製材株式會社
社長　上杉駒吉
顧問　ジエ・エー・ブレヤー
會計　矢田源一郎
店員　一同

晩香坡市西第七街八三三
西川富次郎
電話フエアモント五九八一エル

晩香坡市東カドバ街三〇〇
中野事務所

晩香坡市東（ステングス街一一二
村上寫眞館
電話シーモア七七四五

ジヨジ六世及びエリザベス皇后兩陛下

カナダと戴冠式

◇—ウエストミンスター律令

皇帝宣誓の文句

カナダ人は英國を『母國』と呼んで親しみを示してゐるが、英國に屬した『屬領國』だなどとは云はれるが面白く思はない

嫌かしい文句で綴つてある『ウエストミンスター律令』とふのを見ると、成る程、英本國も一人前なら、カナダも、南阿も一人前ぢや、お互に誰がドコに嫁すべきものでもない、と書いてある

◇

解り易く云ふと、カナダも、南阿も、アイルランド自由國も、英帝國內に於ける立派な一本立ちの世帶を持つ自治國であつて、その資格は英本國とちつとも變らない、上下の差がない、何事も對等で行せる身內の者だ、是等の身內を統率するのは『王冠』であり、王冠に對し英本國も、各ドミニオンも約束し忠誠を誓ふ事により英帝國が統一されるとゐるのだ、と解釋されるのである

◇

律令により、例へばカナダ總督は英國政府の代表者の場合、總督は英國政府の代表としてやつて來たのでは無くて、王冠（皇帝）の御名代として便宜上カナダに駐劄してゐるに過ぎない、是は、ジヨジ六世陛下は英本國の國王であると同じく、カナダの皇帝でもあられる事を明、カナダ政府は總督を通じて、カナダの皇帝に忠誠を誓ふ、とある斯ういふ譯である

であるから、本日のジヨジ六世陛下の戴冠式は、同時に『カナダの皇帝』としての戴冠式でもあるのは其言ふまでもなく、此の大典に日はカナダも一ト役買つて出たやうな次第である

◇

陛下の英本國とドミニオンの關係が今回の戴冠式に、どんな形で現れたか？、と申せば、別に皇帝が、カナダの分の冠を餘計に戴かれたわけでもないが、一つの形式がら最も意義の深い皇帝の宣誓の文句にハツキリと夫れが影響してゐる

◇

『ウエストミンスター律令』が制定され發布されたのは今から六年前の一九三一年末である、その律令の側に戴冠式を執行せられた先帝ジヨジ五世の宣誓文句と、律令後の本日の戴冠式を與げた先帝ジヨジ六世陛下の宣誓文句とは、一ツハツキリと夫れが違つてゐる事だ、即ち律令の結果によつて適當に文句を修正してゐる

◇

先帝ジヨジ五世の戴冠式に於る宣誓の記錄をみると、カンタベリ大僧正が次の如く質問をし五世陛下に求めてゐる

「陛下は英國、愛蘭、加奈陸、南阿聯邦、ニウジランド及び自由國の北外陛下の領土及び領有するすべての土地並びに陛下の管轄の人民を尖々彼等の法と風習に準じて統治すべき事を嚴かに誓ひ且つ約束するや」

◇

右はカナダが『ウエストミンスター律令』によつて格式が上つて生れた一つの實例であるが、大英帝國の或る種の重大問題に對しては、英本國の國會と均しく、協贊權を與へられたカナダの議會も、同じく是に對して協贊を與へるなり反對するなりせねばならぬのであらうと思はれる

◇

最近の例では、エドワード八世の退位問題がある、是に對してはオタワの政府も形式的ながら英國國會の行ふ所に從ふと爲し退位を承認してゐる、又ジヨジ六世陛下の即位に對しても、是を確定し忠誠を誓つた譯である

これと云ふのも律令により、英國王が、直接的にカナダの國王となつてゐる爲め、英本國と同じ行動をとらねばならなくなつたものであらう

◇

英國の國王は君臨はすれども統治せず、とよく云ふ、夫れと云ふのも、議會の勢力が大きくて、萬事議會まかせである所から斯の如き言葉があるのだらうと思はれるでも英國だけなら、夫れでもオーケーだらうが、金英帝國となると、英國々會では手に負へないのではないか、そこへ行くと『王權』は一度手の要みたやうなもので、目浚せざる大帝國は、此の王權によつて、よく統一され結束されてゐるのだと云つても過言ではないらしい

◇

戴冠式も、アレ程の大金をかけて、華麗壯麗などと云ふ批難もあるやうだ、されど、英國で、かくも大切なお飾りものは、矢張り厳々しくやつて、金英帝國の國民の注目を惹いて置いた方が良いと思つて大金をかけてゐるのかも知れない

カナダのスタンダードがカナダ人の手で戴冠式に捧持されるのも今回が最初の事である（をはり）

川崎清滿

祝　奉

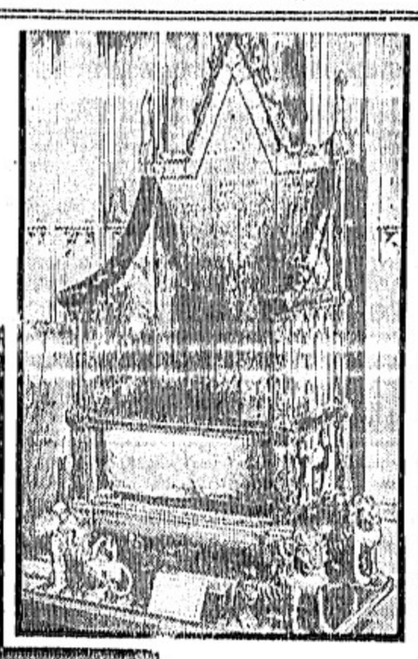
晩市バウエル街二五三　ビーシー魚店　電話ドグ二七八八
晩市バウエル街二五〇　文化商會　電話シー四〇八七
晩市バウエル街三九〇　近藤藥店　電話シー四七六八
晩市バウエル街二四九　誠心堂　電話シー四八八四
福岡縣海外協會　加奈陀支部
福岡青年會
廣島縣人會　廣陵青年會
岡山縣　海外協會
神奈川　縣人協會
美府　日本人會
フレザーミル　日本人會
晩市メーン街三二二　スター美粧院　北野喜美江　電話シー八五五

晩香坡市バウエル街五六八　西村商店　電話ハイランド一三七五
晩香坡市バウエル街三四七　內田書店　電話シーモア四二三〇
晩香坡市バウエル街三六九　前川商店　電話シーモア五二一八
晩香坡市バウエル街三七四　澁谷商店　電話ドグラス五五二五
晩香坡市バウエル街一〇九　古屋商店　電話シーモア二九三三
晩香坡市西第四街二三五六　イーノー花屋　電話ペーピユウ七八八一
晩香坡市バウエル街二六九　香村商店　電話ドグラス九二
晩香坡市バウエル街二二九　松宮野瀨商店　電話ドグラス二一一三
晩香坡市アレキサンダー街四二五　川出製箱所
晩香坡市バウエル街一六三　チエリー美粧院　渡邊琴子　電話シーモア七六八〇アール

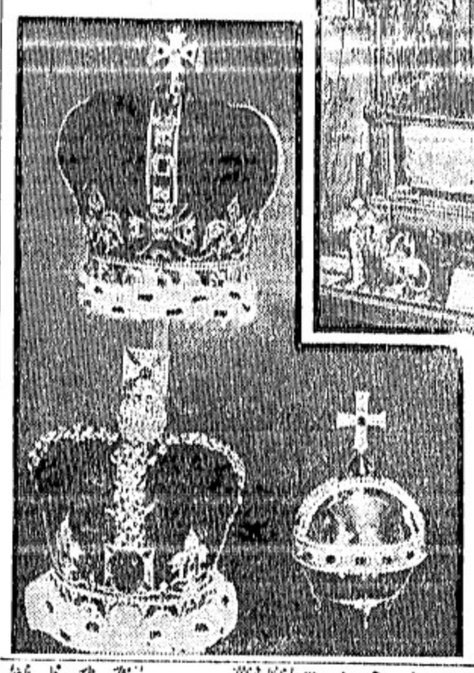
晩市バウエル街三九九　パウエル藥店　電話シーモア七五〇二
晩市バウエル街三二三　速水ラヂオ商　電話シーモア四一二二
晩市バウエル街三二一　新見商會　電話ドグラス三一一二
晩市メーン街二〇二　高原商會　電話シーモア六〇〇三
晩市バウエル街二〇一　大正堂　電話ドグラス五五
ラヂオ各種修繕販賣　井上博志　電話ハイランド一六六〇
晩市東ヘステングス街四五九　宮崎洋服店　電話ハイランド二一三二
晩市東カドバ街三六八　岩田裁縫部　電話ドグラス五〇七七

燦たり王冠と玉車

◇—戴冠式寶物ものがたり



寫眞（上圖）
上の冠が聖エドワード王冠
下の冠はインペリオル・ステート王冠



寫眞（下圖）
戴冠式に皇帝の着用される
コロネーション・チエア

本紙を飾たびも紹介しました通り本日のロロロ六世陛下戴冠式には無多の國寶的寶物をお使ひになります、その寶物は、時價にしまして三千萬弗（日本金の約一億圓）に達するとさへ謂はれるだけあつて、極上を除いて殆んど、すべてが黃金づくり、夫れに、數千と云ふ大小のダイヤモンド、ルビー、サファイア、エメラルドなどの寶石が配してあるのですから、實際、大變な價値なのです

◇

戴冠式に皇帝ひとりだけに使用される寶物だけでも十個以上に上りませう、その外に皇后陛下の冠や、寶珠なども勿論お用ひになるのであります

なほメリー皇太后陛下は、五十萬弗もする御自身の冠をおかぶりになりますし、數刻の世話、陛下、女人たちも、夫々身分に從つて小さいコロネットを使する冠をオツムにのせることになつてゐます、尤い話が、聖子の代りにのせるのですから、いはゞ國陛下の戴冠にふつき合ひにかゝつて居るやうなものでもらうと思ひます

◇

國陛下の御使用になる寶物は前記の如く非常に多數に上りますので、それを一ちゃん詳いてゐたのでは場所もありませんから、茲では、此のページに出てゐる冠だけを簡單に皆さんに御紹介すると致しませう

聖エドワード冠

先づ第一に聖エドワード王冠の事ですが、右上の冠に冠が二つあるうちの上部の方の飛つたやうな格好をしたのが夫れです、この冠は黃金作りで六、七月もかゝる下の方の冠が即ち夫れであります、ビクトリア女王が今から百年前に戴冠式を擧げました際、王冠が餘りに重く、列席重臣に講ぜられませぬから別誂へに製作したのが此のインペリオル・クラウンと云ふのです、此のクラウンが又非常のコツたもので金箔に見假つても大變なのであります

◇

地は黃金で、夫れに大小總數二千八百八十三個のダイヤと、二百七十七個の寶珠、十七個のサファイア、十一個のエメラルド、五個のルビーが鏤めてあると紹介されてゐます

何でも、或る人の詳いたものをみますと、時價三百何十萬弗は確かにするとありますから、驚いてしまふではありませんか、この冠の正面にはめてあるのが、有名な「ブラック・プリンスのルビー」と申しまして、その有名だけでも時價五十萬弗はすると言ひ觸らされてゐるものであります

聖エドワード・クラウンの方は全く戴冠式だけのものですが、インペリオル・クラウンは外の國家的儀式にも陛下がおかむりになります

◇

以上の二つの冠は法律によつて英本國々外に移動することを禁止られて居ります、ですからジョージ五世がインドで戴冠式を行つたときは別に冠を作る必要が生じました、夫れが「インド王冠」と云ふのですが、今このページには其の寫眞が載つて居りません、三十五萬弗位で出來たものらしいです

寶珠のはなし

冠のお話はこれ位にしまして次に王珠とか寶珠とか謂されてゐます「オーブ・オブ・イングランド」の事をちよつと紹介しませう

冠の寫眞の横に出てゐるのが夫れで、珠の上には寶主の十字架が乘つかつて居ます

寶珠は純金製で直徑が六吋ありますが、その位の時價か判りませぬが、珠は地球を表はしたものらしく、王者の表象として皇帝の御に乘せるものなのです、少し小さいですが同じ樣な寶珠を皇后陛下の御にものせます

由緒ある椅子

次にコロネーション・チエアと名付ける椅子があります、木造でナイフでイタヅラ書をされて居り極く心粗末なものですが、却々由緒のあることゝ思ひます、古く、六百年に亘つて、歷代の英帝が、ズツと此の椅子で戴冠の式を行つてきたのであります、から此の椅子に皇帝がお坐りにならねば式が濟まないと云ふことになつて居るわけなのであります

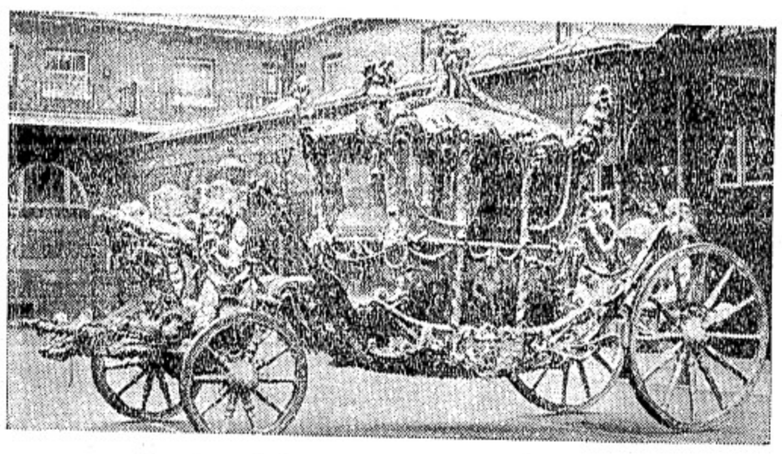
◇

不思議なのは、この椅子の下にはめ込んである石であります、よく寫眞を御覽になると解ると思ひますが、丁度シーツの直ぐ下にある長さ二呎高さ十吋の石が夫れです、聖書の中のヤコブの夢の話、ヤコブが夢をみたとき枕にしてゐたのが即ち此の名石と傳說にありますけれども其を信けないのは勿論でせう

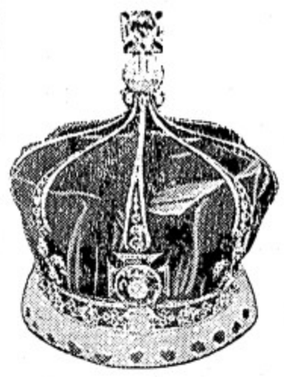
黃金の玉車

英國は、やはり古い傳統の國柄ですから、何かと云ふと、陛下はよく馬車を使用されて、文明の利器であるべき自動車等をお用ひになりませぬ、ルーズベルト大統領が儀式に馬車で行くとなるとちつとオカしいんですが英皇帝が馬車を使用されてもちつともオカしくないのであります、戴冠に使ふ玉車は八頭立馬車で金色燦然たるもの、重さ四噸、四萬弗で、ジョージ三世時代に出來たと云はれてゐます

清滿生



金色燦然たる重さ四噸の玉車
戴冠式への往復に陛下が召される馬車



前の戴冠式にクヰーン陛下がお使ひになつた冠

祝　奉

晩香坡市バウエル街五〇〇
日本人合同教會

加奈陀日蓮宗佛教會

ビーシーフアー
愛友會

ロイストン愛友會

本派佛教會

金光教會

フェアビュー佛教會

フレザーバレー
河畔教會

カソリック教會
青年會
婦人會
母の會

晩香坡市バウエル街三九四
ニューフイシュマーケット
電話ツリニテー二九九六

晩香坡市バウエル街三五三
スター魚店
電話ツリニテー五七八四

昭和倶樂部

晩市バウエル街四六九
ユニオン魚店
電話ハイランド三三五

晩市バウエル街三三三
前川魚店
電話ドグラス三八六

晩市バウエル街二六二
茶木魚店
電話ドグラス五五四二

別天女話

アリトクビ

美人と麗人は同じ事に思はれてゐるらしいが、自分は全然ちがふと思ふ。

麗人は澤山ゐるが、美人は少い。美人は氣品がわつて大膽で健康で明かるく美しくなくてはならないし、頭も良くなくちやならないし、ユーモアも有り、おのづから在る感じが有り自然であり、愛嬌有り、すべてのもの在命へてゐなくちやならない。

麗人は美しくなくとも良い。たとへば九條武子夫人である。武子夫人は美人かどうかふと、白蓮夫人の方が美人である。

英國のローヤルファーミリーでは、プリンセス・マリナ即ちケント公妃が麗人であつて、美人はレディ・アリスが本當の美人である。幾分本當にレディ・アリスは即ちグロースタ公妃の多くの寫眞は眼目なのばかりである。世界は眼目なのの中の人はちつとも美人とは思つてゐないらしい。だけども、ゐるが、美人は寫眞ではそれは〜凄い程完全な美人である。

×

いくら美人でも、一度その人の口から醜い言葉が吐き出されたり心の下品な人は顔だけは美しくとも、もうその顔も醜く下品になる。私が知つてゐる人に、初めて逢つた時は飽く美しくなかつたので氣の毒に思つてゐたら、だん〜逢つてゐる内に斷然顔が美しく、人みたいになつた。その人の心がとても美しかつたので、おつきあひしてゐるとすつかり美しい人にくした女人だと思つてゐた。それで結婚なさらないかと思つてゐたところがシンゾン夫人に引掛つた事件で、なアンだ、まだおつちつた人だと思つた。なぜなら本當にスレッカラシの女にかけて女人の人間なら、もう女人タイプの女に心から熱中はしない。かへつて天晴爛漫な初心な生娘を欲する

——だからウインザー公もまだまだ赤ちやんであると思ふ。

×

吉屋信子の「良人の貞操」がどうしてわんなに皆からワイ〜持てるのか、不思議で仕樣がない。實際女學生向の呆氣ないお馬鹿さん見たいな小說なので、不思議でならない。

今迄の「アア、あはれ〜」が出て來なくて良かつたけれども。良人の貞操を餘主に上げる事は氣味がいゝけれど、全體にまだよちよの感がある。

東日に派手な着物を着て出てゐたが、顏と着物が別々見たい。

×

菊池寛の小說は書出しはいつも特別違つて生々して素晴らしいのにおしまひになるとその人物もでれ〜して、他の小說に書いた人物と同じくなるのでつまらない。たとへば、主人公が初めは超現代人物なのにお終ひでは「日月」の眞子と同じ樣にグニャ〜な主人公になつちまふ。

菊池寛はどうもづるい老爺だと思ふ。あのクシャ〜な顏でわかる。女性問題の座談會では自分に都合の良い事ばかり言ふ。丁度狸見たいだ。それも悪狸。だけど老巧な所はやはり大御所かしら。

なつた。

だから芸術は、麗人にならうと思はれるなら心の持ちようで誰方でもなられる。だから自分の顏は駄目だと思觀なさる必要は決して無いと思ふ。

×

問題のシンゾン夫人は斷然美人でない。あれは技巧に技巧を加へ如何にすればチャーミングになれるか、藝者の樣に工夫に工夫を重ねて滑分な努力でわんなになつたと思ふ。時間とお化粧料と美容術の本とあればシンゾン夫人位になれない事はない。

さて、お話が逆ふけれど、私は今迄ウインザー公を、女を知りつ

■恋愛小說■

淡き戀

×——清美——×

静美は今夜もまた外に出て、うすぼんやりと暈つた月を眺めつゝ過ぎし三年前を思ひ出しては深い溜息をつくのだつた。

「わゝ、私はどうしてこんなに内氣なのだらうか」

と、大膽に誘の出來る人がうらやましく思はれるのだつた。

實際、彼女は内氣で沈みがちな娘だつた。人からもそう云はれてゐる樣に……。しかし、彼女自身は自分は溫和しいのでやない勇氣のない臆病者なのだと、さみしい自分の性格をいたはつてゐるのだつた。

どうして、もつと明るい朗かな性質になれないのだらうかと靜一の事を思ひ出す度毎に遺る瀬なく思ふのだつた。長い間、言葉に離れ、忘れ樣として忘れられない。せめなのに、その頃、毎日のやうにして顏を合してみると、又して

彼の幻は淡い彼女の胸を掠の樣に焦めやすのだつた。

靜一は、口に出してこそ何も云ひはしなかつたが、静美には彼の氣持が時にハツキリと決れてゐるやう氣がした、そして、彼も熱を打ち明けられないもどかしい年ではあつた。

それは三年前、お互に秘めた想ひの二人が、相寄る偶然の機會があたへられたと云ふよりも、靜一の力から静美の獨りでゐる時を選んで近寄つて來たと云へよう。

「静美さん、忙しさうね」

なぞと、明かに日頃めいた目振りで彼女の身に接近して來るときは、ぞつとする程の嫌悪を感じるのだつた。

「さう——」

と答へながらも、静美は眞正面に彼の顏を見る事が出來ない程身内がわく〜して、顏は紅に燃て、嬉しいのかわからない氣持で、いつも、しかし樂しい沈默が續くのだつた。

と、その瞬間、こんな處を人に見られてはそうしようと云ふ情氣が彼女を襲ひ、私は逃げねばならないと理性に訴へると、

「餘りおそくなるから、私歸りますわ」

心にもない冷やかな言葉を口にしてしまつたが、靜一は燃へる樣な眼を失り行く彼女の後姿に投げかけ、さみしい失望の微笑みをうかべてゐるのだつた。

静美は、たゞ一人ルームにとぢこもつていつまでも〜すゝり泣いてゐた。なぜか悲しみが湧き出して來て、涙を出さねば自分が可愛さうだと自分で悲しみに溺れてゐるのだつた。

靜一の相手を前に、冷淡な言葉を幾度して去つて行つた自分の愚かさが恥られ、決して悪事をしてゐた譯ではない、二人の會話だつたのになんと云ふ取かへしのつかぬ事をしてしまつたのだらう、こう思ひ返すと、ますゝ〜涙ならなくなつてベットにしがみつき泣き伏すのだつた。

＋　＋

靜美は今夜も、また、あの日の

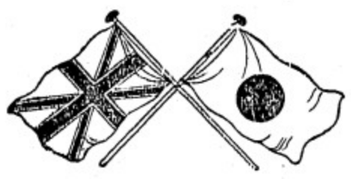
靜一は、日に日に焦燥にかられ、その苦しみを逃れるため遠ばれる樣に外に出て見たがやはり、忘れ得ぬ人の面影のみが、まるで刻みつけられたかのやうに頭から離れない。そして、いつまでも夢を追つてゐる自分は、丁度夢遊病者の樣なものだと自分をあざけり笑ふのだつた。

そんな事も知らず笠のない母親は、數々の身に餘る繰誠を持ちかけ、やゝもすると一日眠り込んで了ふ靜美に大きな希望を持たせやうとする努力も、今は彼女には何の喜びも感じられず、却てうるさがるのだつた。

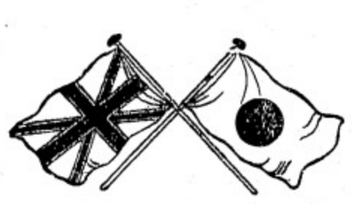
「餘が餘だらう」と云はれて見れば、ふと、我身をふりかへつて、あゝそうだ、私も廿三なのだ……とそう思へば、益靜美は戀のおそろしく執着深いのに驚くのだつた。

どこからともなく、レコードの音樂が流れ聞ねて來る、過去の美しい思ひ出、あゝ、それに比べて今の冷い現實、私は戀のために生きられないのだらうかと思へば、新な涙が湧み出るのだつた。

鶴川が、淡い光りを彼女のルームに淋しく投げかけてゐた。



祝　奉



日の出　新南京
金太郎　玉川亭
金時　吉野
丸万亭　天狗
目さまし　林家
樂々
朝日グラーヂ 電話ダグラス五五四五 自宅新ツリニティー四八七六エル
林榮進堂 ダンレビー街一一〇
武藏屋菓子店
パウエルベカリー
鈴木菓子店
ターメ自轉車店
鎌倉灸點所

新北京
富士チャプスイ 晩市パウエル街三四一 電話ツリニティー四八二三
エムプレスカフエー
ニューピアカフエー
クリスタルランチ 晩市東ヘステングス街一三〇 電話シーモア六一一九
アニー アイスクリームショップ 晩市メーン街二〇六
日本オート 晩市アレキサンダー街ゴーア街角 電話ダグラス二八九九
グランビル商業組合
モデスト商會
日光商會
折戸商會
大和商會

エリザベス姫の御日常
英帝國のスイートハート

英國王位継承者エリザベス姫

英國皇帝ジョージ六世陛下の第一女が何人かはもゝ友達である、よく王妃エリザベス姫殿下は現皇帝の御妹君のマガレット・ローズ姫次の王位継承者で、國王陛下の間に明王子が生れぬ限り、無論エリザベス女王（第二世）として大英帝國に君臨するのである

明治に御かな姫れで、エドワード八世陛下は、貴族の貴族の姫君と別に異る所なく御育ちになつた優雅であるが、八世陛下に次ぎ、父君がジョージ六世陛下として即位されて以來、現在は將來女王としての、御訓育を受けられてゐるのである事である

◇

此の國風を數へて今十一歳のエリザベス姫は、英國民が「我等のスイートハート」として此の上なく可愛ゆがり申し上げて居りその人氣は國王陛下の上を行く有樣である

非常に動物がお好きで、中にも犬は何よりもお友達である、よく御妹君のマガレット・ローズ姫殿下と共にロンドンの動物園へ遊かれるらしい、馬もお好きで、御乘馬姿を市民は見受けることが少くないさうである

◇

同姫君の御日常は、非常に嚴格で、殊に時間をゞはギチン〳〵とむはものに在る

先づ朝七時に在れば、ナースが姫を起して朝食をお上げる、午前八時には御國親の前へ參つて御挨拶になり、九時には日常の學習が始まる、家庭教師に就て御勉强されてゐるやうである

◇

午前十一時から遊びの時間となり午後一時半食、午後三時から又學業にいそしみ、午後四時にはお茶、そしてゲーム等をお樂しみに成る、御就寝はキッチリ午後八時で、その間一日として時間を狂はせた事はないと、承はるのである

しかし遊びの時間等ゞは、實に朗かで、御妹君と共に、キャッキャッと飛び廻るさまは、普通の子供どもちつとも違はないらしい、本日の戴冠式には王族方から御親の御式を興味深くながめられてゐたのである

戴冠式典と祝賀の日取

五月十二日の英帝戴冠式を中心に英國では左のプログラム（大略）が決定してゐる

△五　月

同十一日　各自治領首相、インド總督、各植民地長官より英帝陛下にメッセージ捧呈、英帝國各地代表を召して午餐會、同夜はグロスター公の晩餐會

同十二日　戴冠式擧行、式後英帝陛下は英國全國民に對しラヂオを通じて勅語を賜ふ

同十三日　バッキンガム宮殿において戴冠式記念大晩餐會

同十四日　外務省の晩餐會に兩陛下御臨御、バッキンガム宮殿で舞踏會（このとき英帝御愛藏の金の皿が使用される）

同十五日　列國使節、自治領代表にレセプション

同十九日　兩陛下ギルド・ホールに行幸午餐會

同二十日　スピット（ッド沖で記念觀艦式擧行（日本を初め世界三國招請）

同二十五日　兩陛下首相官邸（行幸午餐會

同二十六日　皇太后陛下御誕辰日バッキンガム宮殿で舞踏會

同二十七日　ロンドン市會主催晩のレセプション兩陛下行幸の御像定

同二十八日　接見式

△六　月

同九日　英帝陛下の御誕辰奉祝觀兵式擧行（但し御誕生日は十二月十四日）

同十日、十一日　叙任式叙勳式を擧行

同十二日　接見式、バッキンガム宮殿で園遊會

同廿七日　在鄉軍人閲兵式

△七　月

同一日　接見式

同五日、十二日　兩陛下スコットランド御訪問

同十四日、十五日　ウエールス御訪問

同二十二日　バッキンガム宮殿で園遊會

思ひ出るまゝ
◈戴冠式とウインザー公

森　研　三

一世の情熱の時人ロバート・ブラウニングは「ラヴ・イズ・ベスト」と謳つた

前英帝の御眼前の其の夜、ロンドン市中に漂ふ英國民の不安の波を宥めるかの如く立籠める霧の街々に、ラウド・スピーカーを流れる音楽としての最後の御演歌が奏されたが、一言一句しみ〴〵と慰め撫るやうに、人々の心を打ち「ウーマン・アイ・ラヴ」の一言は、わい、無に生きんとする熱々の一言だつたのである

ニュース・リールに見つめられ、深い沈默にとざされて、ぢつと耳を傾けてゐた群衆の感激や如何にと。このシーンは私の脳裡にいつまでも

時は到来で日ならずして世相は一變し、前皇帝の退位の日、英帝ジョージ六世の戴冠日のとき弟をしのび奉るウィンザー公の心中や如何にと思はされる。古人は云つた「無に朽ちず名とれば市民はもとより、全英國民はウィンザー・ヴ・キング」の熱讃を國民に捧げられて、國籍に御搖られに、人々の歡呼の奏凱の波に「ゴッド・セーブ・ヴ・キング」の絶叫にゆるがれ、いとも御滿足し宮殿に御歸還遊ばされ市民はもとより、全英國民はウィンバンを扱いで奉祝するし、英帝の玉座にも、今日は快氣よくウィンバンを扱く音が聞かれ、老若男女が、すつと起立するや、なみ〳〵と酒の注がれたカップを高く〳〵さゝげ上げ「ロング・リヴ・ヴ・キング」とカチンとトーストする英國民のこの夜、遥かフランスはカンド城に、夜は靜かに、月はの雪り、一室には大き至食卓が飾られ、キャンドルだけがチリチリと燃えさかる中に、ウインザー公とシンプソン夫人は、靜かに英帝の肖像に向ひ立たせられ、たゞ沈默のまゝトーストされる……。

◇

傍らに置かれたレヂオからは、ロンドン市の熱狂する群衆のざわめきが洩れ流れる。こゝ、カンド城は、夜は更けて月も冴へ、バルコニーに出られると、公と夫人は靜寂至廣々とした庭園を見下され眺を轉じられて、遥かロンドン市にあたる夜空を仰ぎ見られると、いとも感慨無量の面持ちだつた。

すると、夫人は公に寄り添はれ無事かさゝやかれると、ふりかへられた公の顔には微笑がこぼれてゐるのだつた、と想像するのだ。

わゝ戴冠の盛儀と共に、ウインザー公の絶物語りは、永久に歴史に殘り、後世の人々の口の端にのぼるであらう。

祝　奉

天野兄弟商會
秋山金物店
アベニューダイウオーク
ビーシー金物店
蛭崎商店
藤原寫眞館
加藤靴店
松宮食料品店
中村花屋
野瀬靴工場
西澤商店
鶴田ミシン代理店
山崎時計店

山タキシー　電話シーモア一四一四
高田タキシー　電話ダグラス八三六
名畑タキシー　電話ハイランド七六五
ミカドタキシー　電話ダグラス二八二八
杉山運送店
丸越運送店
名畑運送店
丸忠運送店
曾我運送店
稲本運送店

歯科醫會
ドクター番野
ドクター藤原
ドクター石原
ドクター影山
ドクター葛原
ドクター三宅

醫師會
ドクター下高原
ドクター下倉
ドクター内田

晩市東ヘステングス街一九三
宮崎醫院　電話シーモア六一六八

晩市バウエル街二〇三
牛島治療院　牛島幸吉　電話シーモア五八五一

シンガーミシン代理
柳澤元仁

助産婦
晩市マギル街二二一五　高橋貴志子
晩市東ヘステングス街一二三　渡邊糸子
晩市メーン街二四四二　吉原登代

英帝國皇室の御繁榮を祈る

奉祝 大陸文壇

夏雜詠

スコット沼蒲女　選

晩市　悲人
薫風や街に飾れる萬國旗
奉祝の日米花火に賑わがる
招南

山荘の灯りて湖畔夏に入る
風や小舟の上の風車
ツアニベー　螢火

湖に半く色濃く夏の山
同上　明水
薬かくれに色守りそめぬ初蟬
大空にトビの舞ひ居る初夏の朝
同上　浪水
夏めくや谷にしば〳〵釣りの人
眺木のコツ〳〵響く初夏の朝
小百合

御獄の武ふ雲かな五月かな
風いる一枝ふさ〳〵や花藤
トロント　北斗
風渡る都に今日の盛儀哉
フアニベー　輕舟
アメリカに來て喰ふアイスクリーム哉
ナヤイナス　郁平

新俳句

一瀉風選

トロント　北斗
國を興げて捧げ上げ五月晴の
行列見に出掛ふた街の旗は賑ひ
若葉を通じて放送の御聲よとの
日
三島祥子

ス村　海
日本婦人揚げてけふ戴冠式
この國ですが皆んな英國旗振つて
振つて
漁村に陽が一つはいけふは佳き
日

花園やバラソル句ふ五月晴
主くれのはぐれ日匂ふ五月晴
ロイストン　紀洋
金鶏土晴るゝ五月の空で哉
空樂の響きに晴るゝ五月哉
〈以下到着順〉

フレザーミルス　梅勝
水郷やカメラに浮ぶ五月晴
チヤイナス　夏宵
湖の山影ひそかに澄めり五月晴
美府　小百合
御大典萬民仰ぐ五月晴
金雀枝の丘もわかるし五月晴
ツアニベー　浪水
夕蜘蛛の網をつくらふ五月晴
同上　明水
五月晴水玉光る花菖蒲
晩市　夢人

共選

五月晴

三宅春江
森木參木
中澤笛水

（天）トロント　北斗
白雲の山に流れて五月晴
（地）晩市　吟月
禮砲に奏樂響ちて五月晴
（人）同上　悲人
奉祝の行列長し五月晴
ツアニベー　浪水
大川や五月晴れして光る水
チヤイナス　夏宵
梅雨晴れや目に匂ひあり庭のも

フレザーミルス　梅勝
五月晴の光ゆらめく樹蔭かな
ツアニベー　明水
窓開けて見ゆる限りの五月晴
晩市　夢人
戴冠式祝ふ佳き日や五月晴
美府　小百合
五月晴れこと吐きまつる御大典
ツアニベー　螢火

奉祝短歌

安仲詩都江　選

ビクトリア　小百合
上もなき英帝陛下の戴冠の御式をこそこと吐き奉る
御戴冠こと吐きまつり數ならぬ身も跪座なしつ祝ひ奉らむ
御賀嘉かゝげまつりてはろかにも兩陛下のみ榮を祈る萬民

ミッション　吉丸武治
春迎き花の盛りの御大典大英國よ千代に幸あれ

佐々太英治
ゆるぎなく治まるみ世の光りかな高く輝く玉のかんむり
かんむりの光りは高く輝きてゆるぎなき世を照らせ八千代に
祝砲の響くパークや五月晴
同上　招南
五月晴女王の山車の晴れやかに
前山に雲を重ねて五月晴
陽をちらすせゝらぎ水や五月晴
三島祥子
千代かけて納巻に幾る五月晴
ロイストン　紀洋
大英旗五月のビルを晴らしけり
五月晴歓呼の聲を聖峰へ

詩壇

山本倫由　選

奉祝詩

眞榮松壽

空、空、空……
清く、美しく、澄みて
ゆかしくも香り咲く薔薇に
五月十二日の朝未だき風は
微笑みて流る
よろこび多き今日此の日を
鎮氣に心打ち清めて
只純な心で
祈りと共に
讃仰、祝せよ！
廣漠たる天地の沈默は
俄然破れて嬰然たる
我等のキングを
熱誠な生命で
純な歓喜で
祝せよ！祝賀せよ！
おゝ、見よ！
五月十二日の朝日は
光榮の王冠に
燦然と輝きて
厳かに昇り始む

奉祝

ステブストン
日本人團体

橋本倉之助　小林龜吉
河内義雄　三尾留吉
木村藤吉　西繁太郎
北川鐐三　野口光次郎
上代文雄　雑本國松
桑原弘教　高橋儀兵衛

ステブストン
櫻花會

ステブストン
佛教會
青年會
婦人會
女子青年會

オーシャンフオルス
自治會

セルチツク語學校
維持會

漁者聯絡協議會
第一區漁者協會
第二區
スキーナ河漁者協會
リバースインレツト漁者協會
ナアース河漁者協會
ナーム漁者協會
第三區
西海岸ツローリング漁者協會
東海岸ツローリング漁者協會
カツド漁者組合

リツチモンド
苺農者協會

バンフイルド
日本人漁者組合

ステブストン
青年會